

# 院代だより

令和七年



新年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げるとともに檀信徒の皆様のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げます。

旧年中は、お檀家様の皆様には大変お世話になりました。

お参りにお伺いさせていただく際にあたりまして、沢山の不手際やご迷惑をかける事もあったと思いますが、皆様の温かい心遣いにより、無事私達お坊さんも1年を終える事が出来ました。

お参りや電話でのご相談が増えてきております。墓じまい、仏壇じまい、お墓や納骨堂への引越し、葬儀について等。

また、近くに身寄りがいない方、あるいはすべて自分の事を先に決めておきたいなど、不安の声を多数、相談を受ける機会が

多い年でもありました。

そこで当山住職と話し合いを重ね、お檀家様の不安などに明確に応え、安心して頂けるよう、より力を入れていこうという方針に至りました。

皆様のご相談を受け、一つ二つ解決させていただいていると、ある程度生前に細かく決めておいた方が、費用の負担が確実に少ないということが分かりました。

墓じまいをし、永代供養付きの納骨堂にお引越しされた方が、将来的なコストがからないことは間違いないことなので、お孫さんまで続く場合や仏様がたくさん入る予定の方は、当山の納骨堂の方が負担の心配はなく、一部を除く納骨堂やお墓に関しては、お墓の撤去費用、永代合祀塔への移

動費用が一切かかりませんので、将来的なものを考えることとお引越しされた方が負担は抑えられます。

お骨に対しても、永代供養が付いているか付いていないか、葬儀に対しても、色々な対応ができる葬儀屋さんなのか。

お寺だからこそ、その一つ二つをその家庭やご家族の皆様にとつて何が一番負担が少なく、合理的な答えになるのか多方面からお応えできるように、そして、お寺の方でも、ご相談にのれるよう専任の後見人さんを検討しておりますので、幅広く対応できるように時間をかけながら、準備させていただいております。

今後皆様のお力になれるように、努力してまいりますので、宜しくお願い致します。親戚やご兄弟の方も、お悩みの方がいらっしやいましたら、ぜひ一度ご相談頂ければ色々なご提案ができるかと思えます。

ご相談や何か不安に思っている事、何でも構いません。お気軽にお問合せください。